

# 「年越し支援・コロナ被害相談村」 相談件数は 3 日間で計 344 件

2020 年 12 月 29 日(火)、30 日(水)、2021 年 1 月 2 日(土)の 3 日間、新宿区の大久保公園にテントを設置して 10～17 時まで、全国ユニオンを含む労働組合と日本労働弁護団のボランティア有志によって「年越し支援・コロナ被害相談村」を開催しました。

この間、全国ユニオンとしてホットラインを開催しましたが、残念ながら多くの相談が寄せられることはありませんでした。また、日ごろの相談活動でも、昨年春先のような新型コロナによる影響を受けた相談はなくなっています。その一方、炊き出しの列は長くなり、路上で生活している人も増えているようです。

路上での生活を余儀なくされている人も、その多くは「労働者」でした。渋谷区のカフェで殺害されたホームレスの女性も、直前まで派遣労働者として働いていたと報じられていました。このまま、いわば指をくわえて現状を傍観するような対応でよいとは思いませんでした。

年末年始の相談窓口を開放した自治体もありました。東京都は住まいを無くした人を対象に、都内で 1000 室のホテル用意しました。その受付窓口となったのが、今回「コロナ被害相談村」を開催した大久保公園の前にある「東京チャレンジネット」です。制度を受ける方には「水際対策」が行われないよう、窓口に同行し、年明けからは生活保護の申請にも同行しました。

相談者は日を追って増加、最終日には準備が整う前から行列ができ総数は 344 件に達しました。外国人の相談も多かったほか、専用の相談ブースを設置したこともあり女性の相談者も多かったという印象です。以下では 3 日間の集計を報告します。

## ●相談者の年代

←	男性←	女性←	不明←	計←
10 代←	0←	1←	0←	1←
20 代←	14←	6←	0←	20←
30 代←	44←	12←	0←	56←
40 代←	60←	15←	0←	75←
50 代←	65←	7←	0←	72←
60 代←	55←	0←	0←	55←
70 代←	19←	6←	0←	25←
80 代←	7←	1←	0←	8←
不明←	15←	14←	3←	32←
計←	279←	62←	3←	344←

## ●外国人相談 国籍別

ベトナム←	4←
エチオピア←	4←
バングラディッシュ←	3←
フィリピン←	2←
中国(香港)←	2←
ミャンマー←	2←
ロシア←	1←
ネパール←	1←
インドネシア←	1←
韓国←	1←
ウズベキスタン←	1←
不明←	1←
計←	23←

## ●相談内容別

住居←	33←
生活←	171←
食事←	67←
仕事←	44←
医療←	6←
借金←	9←
入管←	10←
その他←	4←
計←	344←